

2023 年度グローバル会計学会賞

学会賞：該当なし

学会奨励賞：川津大樹著「国際サステナビリティ基準審議会設立過程に関する考察」
『グローバル会計研究』第5号，2024年3月，1-18頁。

【推薦理由】

本論文は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の設立過程を、IOSCO と IFRS 財団におけるサステナビリティ報告への取り組みに焦点を当てて、考察したものである。IFRS 財団の『サステナビリティ報告に関する協議ペーパー』（以下『協議ペーパー』）とそれに対する 577 通のコメント・レターをサーベイすることで、IFRS 財団が TCFD、IOSCO といった国際的な機関とどのように関わりながら ISSB の設立に至ったかが、明らかにされている。本論文を通読することで、(1) ISSB の設立過程において IOSCO と IFRS 財団の協同が果たした役割、(2) IOSCO がサステナブル・ファイナンス・タスクフォースを設立した意義、(3) IFRS 財団がサステナビリティ報告に関するタスクフォースを設立し、IOSCO とも非公式に対話しながら『協議ペーパー』を刊行した意義を、理解することができる。

本論文は以上のような学術的貢献を有するが、次のような問題点も含んでいる。第1に、『協議ペーパー』とそれに対するコメント・レターの立ち上がった分析が不足していることである。本論文でなされている「分析」の多くは、独創性を欠き、文献・資料の「紹介」の域を出ていない。第2に、推論過程に難点があるということである。IOSCO の声明を重視するあまり、当該声明を落とし所とする「結論ありき」の推論になっている記述が散見される。

このような問題点を含むとはいえ、それらの克服は著者の今後の研究課題をなすものであり、本論文の学術的価値をいささかも損なうものではない。よって、本論文を、学会奨励賞に値するものと認めた。